

衆議院予算委員会ニュース

平成 22.2.15 第 174 回国会第 11 号

2 月 15 日（月）第 11 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 22 年度一般会計予算
平成 22 年度特別会計予算
平成 22 年度政府関係機関予算
- ・菅財務大臣、原口総務大臣、千葉法務大臣、岡田外務大臣、川端文部科学大臣、長妻厚生労働大臣、赤松農林水産大臣、直嶋経済産業大臣、前原国土交通大臣、北澤防衛大臣、平野国務大臣（官房長官）、亀井国務大臣（金融担当）、福島国務大臣、仙谷国務大臣（国家戦略担当）、大塚内閣府副大臣、武正外務副大臣、馬淵国土交通副大臣、長谷川総務大臣政務官、三日月国土交通大臣政務官及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

津島 恭一君（民主）

- ・郵政改革に係る法案において郵政三事業を一体化し、ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険を子会社化することで全国一律の郵政事業を提供する必要性について大塚内閣府副大臣の見解を伺いたい。
- ・果樹経営支援対策事業等を活用し農家を支援すべきとの考えについて赤松農林水産大臣の見解を伺いたい。

服部 良一君（社民）

- ・米軍基地のある場所が沖縄である必要はない旨の発言をした岡田外務大臣の現在の見解を伺いたい。
- ・米国の発表した「4 年毎の国防計画の見直し」について北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

下地 幹郎君（国民）

- ・今後の沖縄振興計画の在り方及び沖縄を経済的に自立させるための具体的方策について前原国土交通大臣及び平野官房長官の見解を伺いたい。
- ・グアム協定見直しは日本側から提案する必要はないとの主張に対する平野内閣官房長官の見解を伺いたい。

福井 照君（自民）

- ・国会での予算案審議前に国土交通省が予算配分に関する資料を民主党都道府県連に内示した問題について、1 月末に内示した資料と 2 月 10 日の理事会に提出した資料がなぜ異なっているのか。1 月末の内示資料を理事会に提出すべきでないか。
- ・内示した資料について、国家公務員に当該資料を作成させることや特定の者に資料を公開することが、憲法及び

大臣規範に違反するおそれはないか。

田村 憲久君（自民）

- ・消費税を含めた税制に関する議論を来月から始めるとの報道があるが、どのような理由で議論を開始するのか、菅財務大臣の見解を伺いたい。
- ・民主党のマニフェストでは、政策実施のための財源として、「埋蔵金」などを活用するとしており、活用額 5 兆円との記載があるが、これは恒常的に毎年度捻出できないのではないか。
- ・子ども手当の経済効果を算出する際に、消費性向を高く設定しているのではないか。

下村 博文君（自民）

- ・選択的夫婦別姓制度の導入は日本の家族関係に悪影響を及ぼすと考えているが、千葉法務大臣の見解を伺いたい。
- ・天皇陛下と習近平中国副主席との特例会見は内閣による天皇の政治利用であったと考えるが政府の認識を伺いたい。
- ・高校の実質無償化により、公立高校と私立高校間の格差は広がると考えているが、格差是正についての川端文部科学大臣の認識を伺いたい。

高木 美智代君（公明）

- ・出産育児一時金等の直接支払制度の実施に伴い、入金の遅れにより分娩施設に一時的な資金不足が発生しているが、この事態への具体的な対応策について伺いたい。
- ・新たな障がい者制度の確立に向け、障がい者の意見を反映させ、また、関係省庁との連携を行うのが福島国務大臣の役割であると思うが如何か。

- ・障がい者制度改革推進会議で虐待防止法を検討することについて長妻厚生労働大臣の見解を伺いたい。

穀 田 恵 二君（共産）

- ・個所付けに至る「仮配分」をオープンにし、国会の審議に資すべきではないか。また予算の編成過程の透明化について菅財務大臣はどう考えているか。
- ・トヨタ自動車のリコール問題について、トヨタから国土交通省への報告の経緯を伺いたい。
- ・プリウスの制動装置のプログラム変更を「バージョンアップ」と称して行っていたのはリコール隠しと言えるのではないか。

柿 澤 未 途君（みんな）

- ・現在政府で検討されている国家公務員法改正案では幹部職員の降格は困難であると思われるが、降格人事を可能にする法案の実現に向けてどのような方針をもって対応するかを伺いたい。
- ・JALの再建に関し、企業再生支援機構の更生計画ではV字回復することが謳われているが、達成可能な計画と言えるのか。また、更生計画の認可までまだ時間がかかるが、その間に再度公的資金を投入しなければならない可能性は無いかを伺いたい。